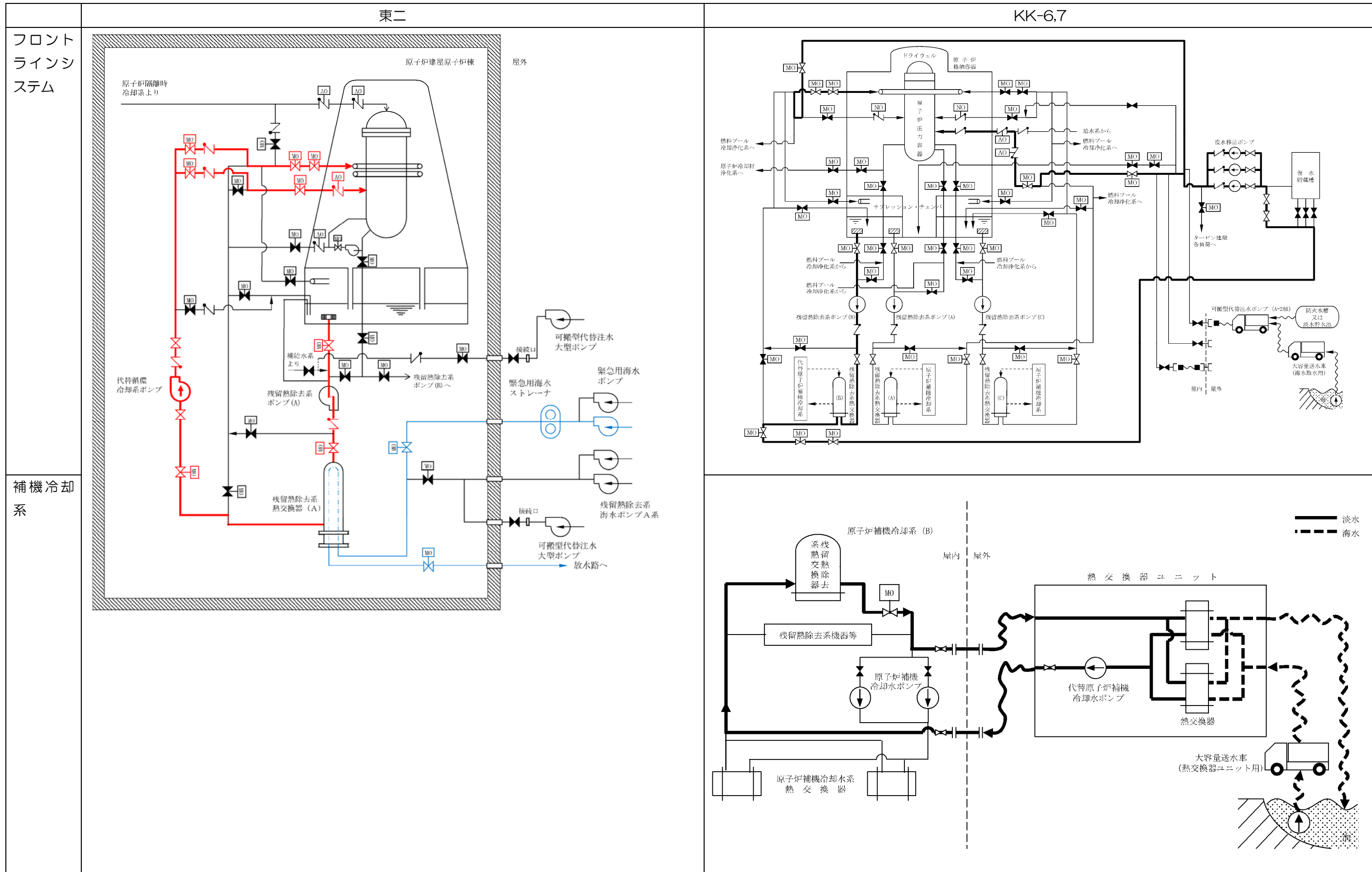


シーケンス毎のベント時間，ベント要因

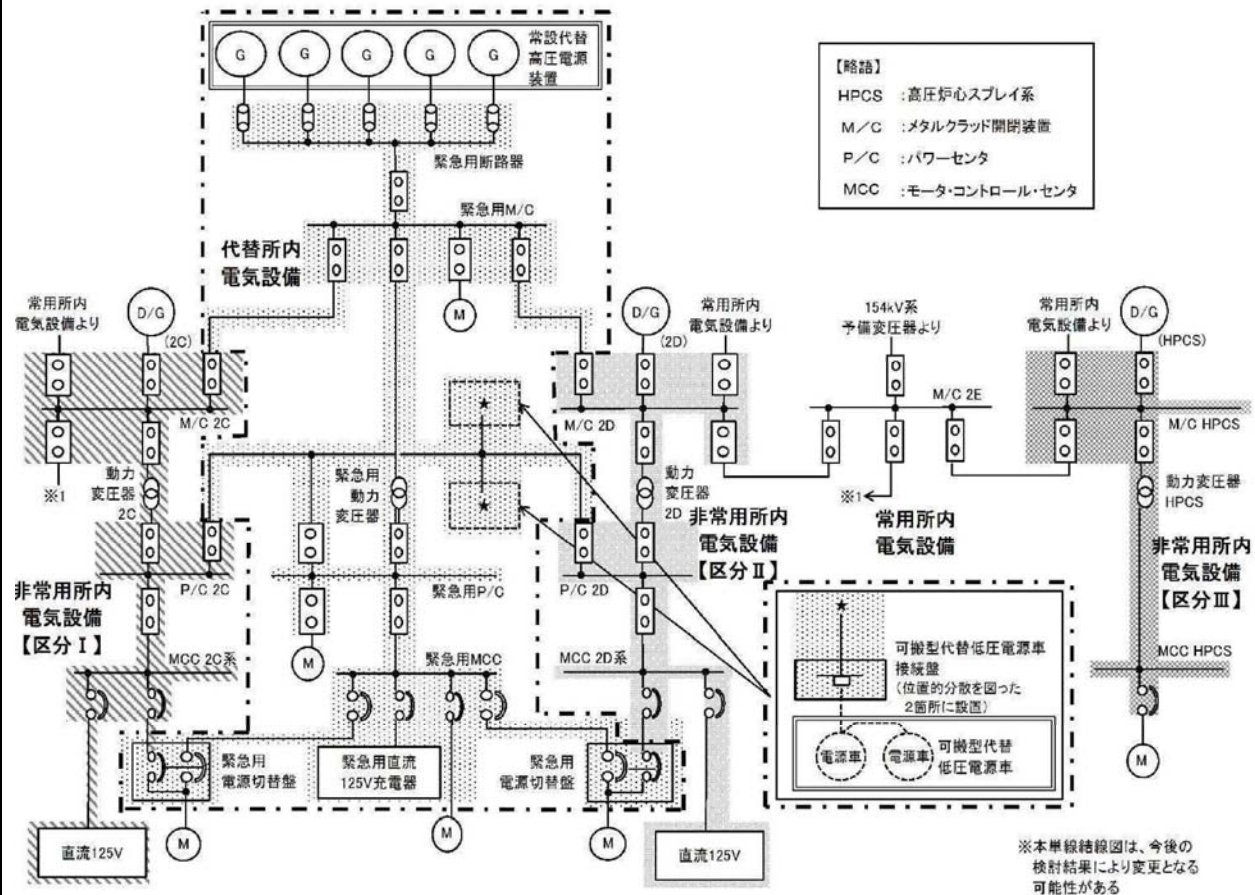
シーケンス	ベント時間	ベント要因	備考
① 静的負荷(代替循環冷却を使用する場合)	約 40 日	酸素 4.3%到達	代替循環冷却系を使用する最も現実的なケース
【感度解析】 大破断 LOCA⇒E-LOCA	約 162 時間	S/C 水位 NWL +6.5m	原子炉への注水不能を仮定しており，RPV 破損後に外部水源によるデブリ冷却をするため S/P 水位上昇
② 静的負荷(代替循環冷却を使用しない場合)	約 19 時間	S/C 水位 NWL +6.5m	ベント最短ケース
【感度解析】 25 分注水遅れ(事象発生から 50 分後に注水開始)	約 21 時間	S/C 水位 NWL +6.5m	
③ DCH	約 54 日	酸素 4.3%到達	
【感度解析】 RPV破損後の原子炉注水なし(外部水源によるデブリ冷却)	7 日以上	S/C 水位 NWL +6.5m	原子炉への注水不能を仮定しており，RPV 破損後に外部水源によるデブリ冷却をするため S/P 水位上昇
④ 水素燃焼(代替循環冷却を使用する場合)	約 40 日 (①と同じ)	酸素 4.3%到達 (①と同じ)	
【感度解析】 SA-G 値⇒DBA-G 値	約 26.4 時間	酸素 4.3%到達	酸素 4.0% (約 20 時間) で窒素供給するが，酸素濃度上昇が早くすぐにベント基準に到達
【感度解析】 25 分注水遅れ(事象発生から 50 分後に注水)	7 日以上	酸素 4.3%到達	
【感度解析】 10 分注水早め(事象発生から 15 分後に注水)	7 日以上	酸素 4.3%到達	

代替循環冷却系の概略系統図の比較



電源

東二



KK-6,7

